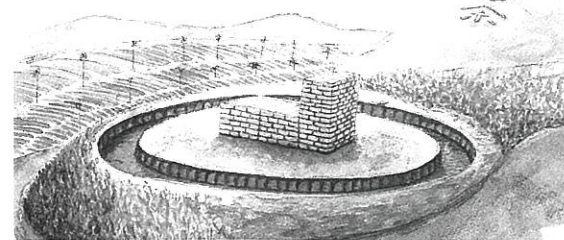




かけがわ 茶エンナーレを楽しむ

掛川市で初めて開催する地域芸術祭「かけがわ茶エンナーレ」。開幕まであと50日あまりとなりました。「茶エンナーレってなに?」という市民のみなさんに、茶エンナーレの魅力と楽しみ方をお伝えします。

①② かけがわ茶エンナーレ実行委員会事務局／文化振興課 (☎21-1126・FAX21-1165) E-mail: chaennale@city.kakegawa.shizuoka.jp



茶畑を望む土のうソファ (イメージ) / 岡本高幸



これが「かっぱし」

川坂屋、藤文、萬屋、本陣跡、山英倉庫、事任八幡宮

日坂の町並みや歴史的建造物の中などに、10人のアーティストが立体作品、写真、書などを展示します。

栗ヶ岳山麓の茶草場

茶草を立体的に組み立てる「かっぱし」を期間中に作り、映像を写します。

掛川城天守閣・御殿

天守閣や御殿の各部屋に4人のアーティストが作品を展示。1mを超える大型の絵画作品などを設置します。

大日本報徳社

大講堂、報徳図書館、仰徳記念館に4人のアーティストが動物の絵画、油絵、映像、3Dプリント作品などを展示します。

竹の丸

竹の丸の離れの1階には1.5m程の大型絵画、2階には人間の型をした立体作品や暗室での映像作品を設置します。

we+138、イシバシヤ

広場に茶畑の星と動植物をモチーフにしたすべり台が登場。周辺ビルにはカラフルな旗がひらめき、ショーウィンドウは絵画などで飾られます。

掛川市役所

庁舎内には巨大で不思議なバルーンたちが出現。屋外には市民のみなさんと一緒に作った「お茶がらレンガ」を使った「茶室」が造られます。

松ヶ岡

月1回だけ一般公開している掛川藩の御用商人山崎家住宅「松ヶ岡」を特別公開。11人のアーティストが、絵画や陶芸など大小さまざまな作品を展示します。



市役所に巨大バルーン襲来 (イメージ) / 椿昇

1 アート作品を楽しむ!

展示会場は市内全域で50か所以上! 作品展示やパフォーマンスは100プログラム以上! 掛川城御殿や大日本報徳社などの文化財、茶畑や森林などの自然、商店街や町並みなどふだん見慣れた景色がアート作品と融合して新たな魅力で輝きます。期間中はスタンプラリーも開催します。30日間かけて市内全域をまわって、じっくりとアート作品を楽しんで、自分のお気に入りを見つけてください。



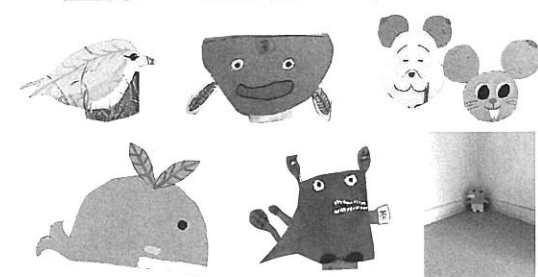
「太陽からの手紙」 / 中瀬千恵子

さくら咲く学校

旧原泉小学校全体が美術館に。12組のアーティストが、絵画、写真、茶器、立体作品などを展示します。

柴田牧場周辺

原野谷川に生き物のシルエットをあしらったセルロイドが飾られ、農機具小屋がカラフルなイラストで彩られます。



市内全域

子どもたちがベニア板から作った「ベニア人」が、市内のいろいろな場所に出現します。

そのほか

彗星発見の丘

彗星をテーマにした「COMET」が再登場。まちなかエリアのすべり台と一対の作品として完成します。

「秋の星空鑑賞会」

オリオン座流星群が極大となる日、五明のお茶を飲みながら、茶畑で満天の星空を眺めます。



茶畑を見下ろす「彗星発見の丘」

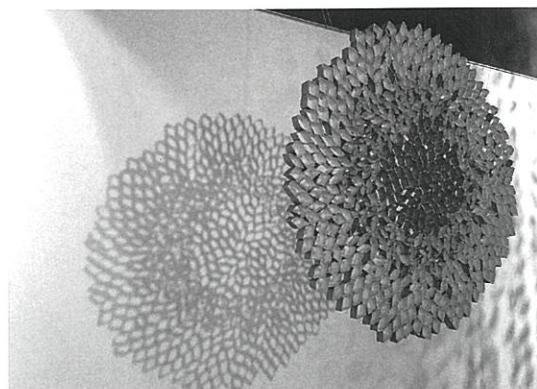
五明茶業組合

「SPACリーディング・カフェ」

SPAC-静岡県舞台芸術センターの俳優のナビゲートのもと、演劇台本の読み合わせが体験できます。

清水邸

10月20～22日に開催される「遠州横須賀街道ちっちゃな文化展」の出展アーティストのうち14人が、本宅、蔵、庭園で、クラフトや立体作品などを週代わりで展示します。



トイレットペーパーの芯を使った作品 / 山田ゆか

大東図書館

絵はがきワークショップの作品や、みなさんが作った紙ねんどの「お茶のはっぱ」(右写真)を展示します。また、白隠の貴重な書などを特別展示します。



高天神城下池

水辺に建てられた小屋から池を望むと、フレームで切り取られた風景に出会えます。

土方周辺の茶畑

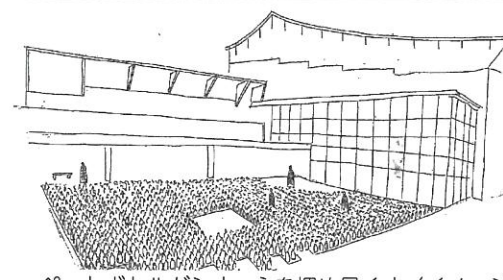
小笠山麓から藤原京へ宮仕えした女性「土形娘子(ひじかたのをため)」を顕彰する人型が茶畑に出現します。

シオーネ

市民のみなさんから提供していただいたペットボトル約1万本がウォーターコートに飾ります。2人のパフォーマーが演じ、来場者はウォーターコートを歩いて「日常への旅」を体験します。

貞永寺

貞永寺前の白砂が、カラフルな陶器で埋め尽くされます。



ペットボトルがシオーネを埋め尽くす (イメージ) / happy unbirthday+戸井田雄